

テーマ「開かれた大学を目指して～Open Portal System の提案～」

1. 大学の役割

(1) 私たちが考えた大学の役割

「社会への貢献」

(2) 役割を果たすために、大学は何をしなければならないのか

「人間力と専門性に富んだ人材育成」

「地域（国、世界を含む）発展の場の提供」

2. 大学の現状

(1) 大学の現状はどうだろうか

- ① 社会における大学の立ち位置が変化（数限られた人が進学する ⇒ 大学全入時代）したことで、大学は社会（地域・企業など）から「人間力と専門性の向上」を求められている。
- ② 大学業界は古い慣習が多く、社会から比較的閉ざされた環境にある。地域（国・世界を含む）の発展に貢献するため、それらと積極的に接続し、発展の場を提供していくことが、社会から求められている。

(2) 役割を果たすために、どのような取り組みが必要なのだろうか

- ① 人間力向上に目を向け、私立大学の特色を反映させた取り組み
例：奉仕の精神を学ぶ場として、ボランティアなどの正課外教育を支援する。
社会との繋がりを学ぶ場として、就職した先輩と話す機会を作る。等
- ② 地域・企業と大学を繋げる取り組み
例：企業・地域のニーズを把握したりするポータル上の窓口を作る。
学生と教員の意欲を高める広報活動を行う。等

3. 私たちが考える意識・問題点の共有

(1) 【意識】

専門性については、教員からのアプローチで向上を図り、人間力を「社会の構成員として自立し、生きるための力」と定義付けた上で、人間力については、大学職員から積極的にアプローチしていくべき領域であると考え。（あくまで専門性は教員の担っていただくべき領域）

(2) 【問題点】

- ・大学側の情報の発信力・受信力が弱いため、大学からの情報を十分に周知できず、また企業・地域のニーズの吸い上げができていない。
- ・大学の人的・物的リソースが有効活用されておらず、地域の産業・文化の発展に寄与していない。
- ・18歳人口の減少により、上記の問題点がクリアできていない大学は淘汰されていく。

4. このテーマを選んだ理由(大学の役割、大学の現状を踏まえて、何が重要と考えたのか)
大学を媒介にして社会とのつながりを促進することが重要

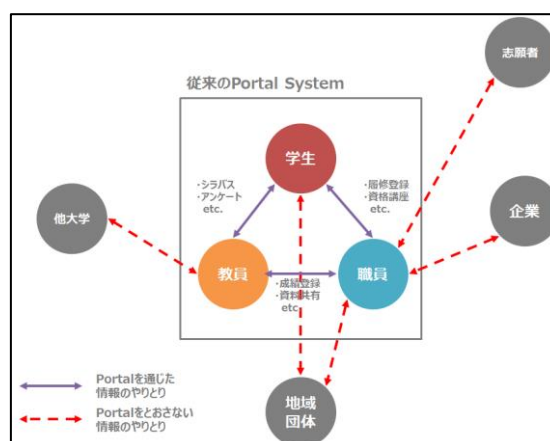
⇒「開かれた大学を目指して～Open Portal System の提案～」

5. 大学のイノベーションの提案

(1) 従来型ポータルシステム

従来のポータルシステムは学内(学生・教員・職員)の用途を目的にしており、ポータルサイトを通じた情報のやり取りは限られていた。そのため、学外である社会とのつながりはポータルサイト外で行われていることから、情報の周知・把握が難しく、一部の学生のみにはしか伝達できていなかった。つまり、ポータルサイトを通じて学外と繋がる機会はほとんどなかったとも考えられる。

従来のポータルシステム



(2) 私たちが考えるポータルシステム「OPen Portal System」

その名の通り、内部に留まらず外部とのつながりを促進する「開かれた」ポータルシステムである。

大学は閉ざされた環境であるという今までのイメージを覆すべく、ポータルを通じた社会とのつながりを強化するという目的を持ち、それぞれの団体向けに専用ポータルサイトを設けることで、それぞれの団体のニーズに合った情報を提供することが可能である。例えば、大学での研究成果や取り組みの公開(外部への発信)、または企業からの説明会やボランティア、共同研究の募集等(学内への発信)を積極的に行える利点がある。また、外部の人も気軽に利用できるという点において、得られる情報(学外からの受信)も増えるのではないかと推測される。ポータルの導入にあたっては、一つの大学のみでの取り組みではなく、できるだけ多くの大学に参画してもらうことで、外部のステークホルダーにとって汎用性(スケールメリット)の高いツールとしていきたい。

